

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1472602786
法人名	有限会社 良観
事業所名	グループホーム ぽっかぽか
訪問調査日	2015年12月7日
評価確定日	2016年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
 外部評価は20項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [次ステップに向けて期待したい内容]  
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成27年度

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	14172602786	事業の開始年月日	平成17年4月1日	
		指定年月日	平成17年4月1日	
法人名	有限会社 良観			
事業所名	グループホーム ぼっかぼか			
所在地	( 252-2-0246 ) 神奈川県相模原市中央区水郷田名2-20-14			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成27年12月1日	評価結果 市町村受理日	平成28年5月18日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様の将来の為にを意識し日々行動している
------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成27年12月8日	評価機関 評価決定日	平成28年3月31日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>①このホームは、有限会社良観の経営です。このホームは、代表者と管理者のグループホームへの思いと理想を実現する為に、大きな民家を買取り、改築してグループホームに変更しました。利用者の居室は、1階に6室と2階に3室の1ユニットのグループホームです。利用者に閉塞感を感じさせないように門扉は、門ごと外され開放されています。1階中央に利用者全員が囲める大きなテーブルの置かれたリビング兼ダイニングがあり、隣接して、厨房があります。リビングは、庭に面した全面、が窓ガラスで、濡れ縁もあり、明るく、開放的な雰囲気を出しています。このホームは、JR相模原駅からバスで30分徒歩5.6分の落ち着いた場所にあり、交通の便は、やや不便ですが、その分環境には、恵まれていて、相模川の堰堤まで50mと近く、堰堤の桜並木や堰堤の遊歩道からの眺望は、素晴らしく、春先の桜見物は、楽しみになっています。</p> <p>②ホームの理念「利用者の将来の幸せのためにを意識してその方の生きる力を最大限に活かせる」を掲げ、理念に沿ったケアを実践しています。食事の調理には、包丁を使うことも含め、利用者と共に調理することを徹底しています。午前中は、3人の職員の内2人が、それぞれ、利用者1、2名を何回かに分けて一緒に散歩に行くことで、ほぼ全員が散歩することが日課になっています。また、屋内でリビングから玄関までの往復歩行訓練する利用者もいます。入浴に関しては毎日、全利用者が、入浴を行っていることもこのホームの特徴です。毎日の入浴は、清潔維持だけでなく、運動にもなる為、体力維持にもつながっています。</p> <p>③地域とは、日常の散歩で地域の方々との挨拶や会話を交わす関係になっています。自治会にも加入し、民生委員の協力を得て、2自治会の「おしゃべりサロン」に毎月1回利用者と共に参加しています。ホーム行事の敬老会や運動会の際には、地域の自治会館を借りて開催するなど、良好な関係が築けています。また、近くの保育園との交流も継続していて、保育園の行事に利用者が参加したり、保育園の牛乳の紙パックの解体作業をホームで行い、園児の廃材利用のお手伝いをしたり、今年は、交流の一環として、代表者が、クリスマスの時、サンタ役で保育園に出向いています。</p>
--

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームぽっかぽか
ユニット名	

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
	○	3, たまに
		4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に当ホームの理念について話し合っている	理念に「利用者に対して家庭的な環境を提供し、利用者自身の生きる力を最大限に活かせる」を掲げており、毎月の会議や日常の会話にて職員と話し合い、共有化に取り組んでいます。利用者は、毎日の散歩や調理の手伝いなどで身体を動かし、理念に沿ったケアが実践されています。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の散歩や自治会等の中で交流出来ている	毎日の散歩の際、地域の方々と挨拶や会話を交わしたり、自治会の「おしゃべりサロン」に利用者と職員が参加して地域交流を行っています。また、ホーム行事の敬老会や運動会は、自治会館を借りての開催するなど、地域とは良好な関係が築けています。近隣保育園とは、今年のXmasに、代表者がサンタ役で出向く等交流を継続しています。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談等があれば積極的に支援している			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回行い情報交換をしている	2か月に1回定期的に開催し、民生委員・自治会役員・市職員等をメンバーとして、ホームの活動や行事の説明などの報告をした後、参加メンバーから様々な意見や助言を頂き、ホーム運営の参考にしています。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	状況報告や相談を必要に応じて行っている	相模原市役所とは、ホームの状況報告や研修案内を頂く等、連絡を取り合っています。生活保護の利用者の手続きや問い合わせで、市の生活支援課とも連携しています。グループホーム連絡会では、同じオーナー経営者の集まりの県央地区の連絡会での活動が主力になっています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中の施錠を禁止し、身体拘束はしない様になっている	代表者は、利用者が「閉じ込められた」との感覚を持たせないよう、門扉を取り除き、日中の玄関施錠を禁止し、開放感のある空間造りを心がけています。身体拘束をしないケアについては、毎月の職員会議の研修の際にも取り上げ、センサーの設置も行わず、見守りで対応しています。	今後の継続	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待とはなにか・・・と会議等で具体例を上げて常に意識をもたせている			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	関係各所と情報交換を行い最善の方法が取れる様になっている			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	退所ごの対応は必ず行っている			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との対応窓口を1本化して情報漏れの内容にしている	ご家族との対応窓口は、代表者に一本化することで、ご家族や後見人との連絡や意思疎通がスムーズになるよう配慮しています。ご家族の来所は少なめですが、メールや電話で利用者の状況報告を行い、ご家族からの意見聴取に取り組んでいます。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	提案書を受け入れ、必ず情報を公開している	家庭的な雰囲気の中、代表者と職員間の会話は、日頃から行われています。毎月1回の職員会議時に、職員からの提案書を検討し、提案書に対して代表者がその場で応えています。月1回の会議では、毎回何らかの提案書が出されることになっています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に心がけている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修等を積極的に取り入れている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2か月に1回の交流会等で実施している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	毎日のコミュニケーションで信頼関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族とは常に連絡が取りあえる様になっている			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居までに何度かの情報交換を行っている			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホーム内での家族関係を築いている			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人や家族にとって何が必要なかを話し合う機会を設けている			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の求めに応じて行動している	利用者本人の希望に応じて、馴染みの関係を継続出来るよう支援しています。利用者よりお墓が気になるとの言葉が出た時には、お墓参りに連れていくこともあります。親戚や友人の来所も歓迎しており、ご家族から確認を取った上で面会してもらっています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士関係が築けるように必要に応じて職員が支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も交流の機会を設けている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	情報は常に利用者とのコミュニケーションを取って聞き取っている	利用者の思いや意向についての情報は、常に利用者とのコミュニケーションの中から汲み取りに努めています。特に散歩時や入浴時は、職員と利用者が1対1になるので、利用者の本音を把握する機会になっています。利用者からの要望については、食に関することが多く、応えられる事が多くなっています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者と職員が1対1で話せる環境作りをしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変わる状況に対応している		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランを立てる上で関係者との情報交換を大事にしている	ケアプランを立てる上で、ご家族や職員との情報交換を大事にして、作成しています。毎日のケース記録や業務日誌の情報を基に、毎月1回の職員会議でケース会議も実施しています。ケアプランは、何か特別な変化が無い時には、6ヶ月に1度の見直しを行います。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の他に情報共有の為の書類を用意している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々変わる変化に柔軟に対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域をの関わりを意識し積極的に参加している		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連絡を十分におこなっている	ホームの協力医との連絡を充分に取り合い、利用者は、健康上、特変がなければ1、2カ月に1回の割合で通院しています。歯に関しては、訪問歯科を利用し、必要に応じて週1、2回往診に来て頂いています。契約看護師は週1回来て、利用者の健康管理を行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	窓口を1本化する事で漏れのない情報交換をしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と連絡が取れあえる様に環境を整えている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りのできる環境を整えている	入居時に利用者本人とご家族にこのホームの終末期の対応について、説明しています。重度化した際は、再度本人・ご家族の意向を確認し、医療関係者とも話し合い、医療行為が発生しない場合には、ホームで看取りが出来る環境を整えています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議等で訓練している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	2か月に1回のペースで避難訓練を実施している	避難訓練は2か月に1回実施しています。建物はスプリンクラーをはじめ様々な防災設備が設置されています。スプリンクラー用の貯水タンクは、災害時に給水タンクとしても使用できるようになっています。また、備蓄品は、毎回食材の買い付けを3日分行う事で、絶えず数日分の食料が維持されています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会議等で意識作りをしている	全職員が、利用者一人ひとりの人間性を入居時のアセスメント、日頃の生活の様子、会話や観察で把握に努め、職員会議で情報を共有し、その人にとって人格・誇り等を損なわない言葉遣いを使用するよう意識しています。代表者は常々、職員の言葉遣いの中に、愛情があるかどうかの重要性を説明しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に意識して行動している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に意識し行動している 又、会議等で職員に教育している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日行っている	メニューは、管理者が、1週間単位で作成しています。リビングと厨房が隣り合わせで、毎食、利用者に調理の手伝いをしてもらいながら食事の準備を行っています。毎月1回は外食の日を設け、食事を楽しんでもらえるように工夫しています。また、誕生日会では、好みの昼食メニューと手作りのケーキを提供しています。年末には、毎年、杵と臼での餅つきを行い、全利用者が、本当のお餅を食べることによって、食感を楽しんでもらうと同時に季節感を感じられるように配慮しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日チェックシートにて情報を確認出来る様にしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎日行っている	オムツの使用を極力避け、トイレでの排泄を心掛けています。自立していない利用者には、排泄チェック表に基づいたトイレ誘導を行っています。布パンツやリハビリパンツにパットの利用者には、夜間帯も声かけして、トイレの誘導を行っています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴出来ている	代表者の方針で毎日、全利用者が入浴を行っています。毎日の入浴が、習慣づけられている為、強い拒否の方はいません。毎日の入浴が清潔の維持と共に、利用者の体力の維持に繋がっていると考えています。時期によってはゆず湯や菖蒲湯を使用し、季節感を感じれるように工夫しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の行動パターンを把握し対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の変化の気付き、誤薬の防止を積極的に行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	コミュニケーションを取りながら実施している	毎日の散歩が習慣になっています。午前中の3人体制になる10時から、2人の職員が交代で利用者連れ出し、ほとんどの利用者が散歩に出かけています。また、季節行事や遠出時は、外食も兼ねて出かけた。毎月の2自治会の「おしゃべりサロン」にも参加しています。協力医からも散歩が筋力維持に役立つとのコメントも頂いています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要に応じて行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	積極的に支援している			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に心がけている	リビング兼食堂は大きなテーブルが置かれ、利用者全員がテーブルを囲めるようになっており、調理場所としてや工作の作業場にもなる便利なテーブルになっています。全面窓ガラスで庭を見渡すこともでき、明るく開放的な雰囲気空間になっています。共用空間の掃除は毎朝、利用者と共にしない清潔保持に努めています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	常に心がけている			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族の希望を聞きながら必要な環境を整えている	居室は、1階に6部屋、2階に3部屋の構造になっています。2階の利用者にとっては、毎日階段を上り下りすることで、素晴らしいリハビリの場所になっています。居室は、一般住居を改装して作った為、それぞれ個性があります。利用者やご家族の希望を聞きながら必要な環境を整えています。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見守る事の大切さを常に意識して行動している			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム  
ぽっかっぽか

作成日

2015年12月8日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員の入れ替わりによる能力不足	職員の能力向上	毎月の会議を主とした勉強会を設置	無期限
2	2	利用者不足	新営業方法の確立	受け入れ態勢の整え	無期限

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。